

## 「令和5年度学生による授業評価結果報告」

川崎医療短期大学 FD・SD 委員会

本学では、大学教育の質的向上を図ることを目的として、学生による授業評価を継続して行っており、評価結果を基にしたFD活動として、各教員は自己点検・評価を実施している。

令和5年度は、前期40科目・後期35科目をそれぞれの学期末に授業評価を受けた。また、看護学科は3年次生の領域実習8科目の実習評価も行った。調査内容は、1) 学生の自己評価(4項目)、2) 授業の基礎的な事項(4項目)、3) 学習の推進に関する事項(3項目)、4) 総合評価(2項目)の計13項目である。回答は、「そう思わない」「あまりそう思わない」「どちらでもない」「ややそう思う」「とてもそう思う」の5段階評価とした。調査結果に基づいた科目ごとの「教員による自己点検報告書」を提出後、各教員に学生への授業改善への取り組みをWebClassに掲載することで、学生へフィードバックを行う。

以下に全体の集計結果を示す。全体平均は、前期・後期共に4.5と高い満足度が示された。例年最もポイントが低い「I学生の自己評価4) 私は、授業外学習(予習、復習を含む)をした」については、学生参画のFD・SD研修でも改善案を検討し、授業に反映させた結果、前期4.1、後期4.3となった。今後は更なる授業の改善を目指して、評価内容の検討を進めていく。

## 令和5年度 授業評価結果集計表

大項目	質問項目	前期	後期
I 学生の自己評価	1) 私は、シラバスの内容（到達目標、授業内容、評価方法）を理解している。	4.5	4.5
	2) 私は、この授業中、マナー（携帯電話、私語、いねむり、遅刻、早退をしない）を守った。	4.6	4.7
	3) 私は、授業に意欲的に取り組んだ。	4.6	4.6
	4) 私は、授業外学習（予習、復習を含む）をした。	4.1	4.3
II 授業の基礎的な事項	5) この授業は、テーマや到達目標、内容、評価方法等を予め明確に示された。	4.6	4.6
	6) この授業は、シラバス（到達目標、授業内容）に基づいて行われた。	4.6	4.6
	7) この授業は、時間割に沿って授業を行われた（休講、変更をあまりしない）。	4.7	4.6
	8) この授業は、学生が授業に集中できる環境を整える努力をしていた。	4.5	4.6
III 学習の推進に関する事項	9) この授業は、学生が興味を持てるよう授業内容や方法を工夫されていた。	4.5	4.5
	10) この授業は、板書や配付資料、視聴覚機器等の教育器材の使用によって理解が深まった。	4.6	4.5
	11) この授業は、適切な進度で行われた。	4.6	4.6
IV 総合評価	12) 私は、シラバスで求められた到達目標をほぼ達成できた。	4.4	4.4
	13) 私は、総合的にこの授業に満足している。	4.5	4.5